

登録申請者と管理建築士が異なる場合はそれぞれ必要。

登録申請者と管理建築士が同一人の場合は両方を大きく丸囲みし、兼用とする。

添付書類(ロ)

略 歴 書 (登録申請者)
管理建築士

〔記入注意〕

- 1 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 2 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
- 3 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

氏名	大分 太郎		生年月日	昭和〇年〇月〇日	
建築士の資格	一級建築士	<input checked="" type="checkbox"/>	登録番号	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合) 〇〇〇〇	
	二級建築士	<input type="checkbox"/>			
	木造建築士	<input type="checkbox"/>			
	なし	<input type="checkbox"/>			
学歴	年月日	学校名及び学科名	卒業・終了・中退の別		
	昭和〇年3月	〇〇大学 建築学科	卒業		
職歴	期間 年月～年月	勤務先	地位・職名		
	H11年9月～ 現在に至る	株式会社大分県	代表取締役		
	H2年8月～ H11年8月	株式会社福岡県	取締役		
	S〇年4月～ H2年7月	有限会社宮崎県	設計士		
歴	<ul style="list-style-type: none"> ・職歴の期間で学校卒業から現在に至るまで、間が抜けていないか確認する。 ・無職の期間がある場合には「無職」と記入する。 ・学歴には最終学歴を記入する。 				